

令和 3 年度 CUPAL 成果報告会

R3 年度 CUPAL 成果報告会が Web で公開されました。

下記の研究紹介動画が令和 3 年 12 月 15 日までの期間限定で公開され、北大工学部の真栄城正寿准教授が講演されております。

・フレキシブル薄膜太陽電池の高効率・多接合化に向けた赤外吸収薄膜の開発

(都甲薫：筑波大学→NIMS)

・時間分解 X 線溶液散乱における脂質ナノ粒子の形成メカニズムの解明

(真栄城正寿：北海道大学→KEK)

・人工知能技術を加速する冷却原子気体を用いた革新的量子アニーリングマシンの開拓

(渡部昌平：東京理科大学→産総研)

【日時】 2021 年 9 月 9 日～12 月 15 日

【場所】 オンライン開催

【登録】 不要

【URL】 <https://www.tia-nano.jp/page/page000331.html>

CUPAL とは

喫緊の課題であるナノテクノロジーの最先端人材育成のため、平成 26 年度から開始されたもので、Nanotech Career UP Alliance の略。北大は研究者等派遣機関として、参加してきた。

詳細

<http://www.cat.hokudai.ac.jp/asakura/nanotechCareer-upAlliance/2017/2017FLYER.pdf>

北海道大学 CUPAL ホームページ

<http://www.cat.hokudai.ac.jp/asakura/nanotechCareer-upAlliance/nanotechCareer-upAlliance.html>